

日本橋川清掃活動（第29回） レポート

2月に予定していた清掃活動が雪で中止となり、振替開催となった今回は、約20名の有志の参加により実施しました。河川清掃開始の前に、本活動の立ち上げ時から主導され、昨年12月にご逝去された名橋「日本橋」保存会前事務局長の永森昭紀様のご冥福を祈り全員で黙祷を捧げました。

河川状況は2日前までに降った雨の影響で透明度は悪い状況でしたが、臭いは殆ど感じられませんでした。

生物では、北へ旅立つ前のゆりかもめが休憩する姿を多く見ることが出来ました。

日時 2014年3月7日(金) 10:00~12:00

- 【主催】
- ・名橋「日本橋」保存会
 - ・日本橋地域ルネッサンス100年計画委員会
 - ・常盤橋フォーラム

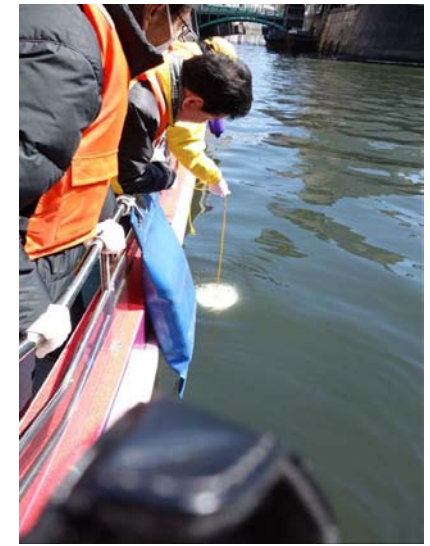
- 【参加企業】
- ・オフィスドゥ
 - ・月刊日本橋
 - ・清水建設株式会社
 - ・日の丸自動車株式会社
 - ・みらい建設工業株式会社
 - ・三越伊勢丹
 - ・三越環境ビル管理
 - ・三菱地所株式会社
 - ・三井不動産株式会社
 - ・三井共同建設コンサルタント株式会社

- 【協力】
- ・舟宿「三浦屋」（作業船提供）
 - ・東京都建設局第一建設事務所
(河川清掃船によるゴミの回収作業)

- 【2014年の予定】
- 4月18日(金)
 - 5月23日(金)
 - 7月16日(水)
 - 9月19日(金)
 - 11月21日(金)

約20名の皆様
にご参加いただき
ました。

次回もご参加、よろしく
お願いいたします。



【水質調査】

気象条件等

当日の天候	晴れ、気温 5.8℃、降水量 0mm
直近の降雨	3月4日 22時から5日 20時にかけて合計 31mm
潮位・流向	256cm → 205cm、下げ潮時

水質調査結果

地点/項目	単位	目標	① 三崎橋	② 日本橋	③ 豊海橋
透明度	cm	200以上	160	70	80
COD	mg/L	5未満	8	5	7
臭気	-	1以下	1	1	1
リン酸態リン	mg/L	0.05未満	0.15	0.03	0.02
硝酸態窒素	mg/L	2未満	1	3	3
亜硝酸態窒素	mg/L	0.02未満	0.3	0.2	0.7
アンモニウム態窒素	mg/L	0.2未満	0.5	0.7	0.5



CODの目安

mg/L	0	0~5	5~10	10~20	20以上
評価	非常にきれい	きれい	少し汚れが入っている	かなり汚れがまわっている	汚れが進んでいる

臭気目安

-	0	1	2	3	4	5
評価	無臭	やっと感知できる	弱い臭い	楽に感知できる	強い臭い	強烈な臭い

降雨の影響で濁っており透明度が低かったものの、臭いは殆ど感じられなかった。

※水質調査結果は簡易試験（パックテスト）によるものであり、厳密な数値を示すものではありません。

<ゴミの種類>

・ビニール袋類	8	・ベルト	1
・ペットボトル	7	・靴	1
・カップめん容器	4	・ボード	1
・発泡スチロール	4		
・牛乳パック	2		
・空き缶	1		
・みかん	1		
・たばこ	1		
・人為的に捨てられたものが殆どであった。			
・前回に比べゴミの量は少なかった。			

<確認された生物>

- ・セグロカモメやユリカモメが確認された
- ・亀島川分流地点で最も多くのカモメ類が確認された。



用語解説

【COD】 水中にある物質が酸化剤で酸化や分解される時に消費する酸素量。値が高いということは水の中に反応しやすい物質が多い。
 【リン酸態リン】（評価の目安 きれい：0.05mg/L未満、0.05~0.2mg/L：少し多い）
 樹木や水草、食べ物のかす、肥料等のリンの一つの形態。生活排水、肥料、窒素とともに富栄養化の要因となる物質。
 【硝酸態窒素】（評価の目安 少ない：1mg/L、通常1~2mg/L前後）
 アンモニア、亜硝酸が酸化されることによって生成される有機性窒素体の最終生成物が硝酸です。水道法では亜硝酸態窒素と硝酸態窒素との合計量が10mg/L以下に規制されています。
 【亜硝酸態窒素】（評価の目安 きれい：0mg/L、通常：0.02mg/L以下）
 亜硝酸値が高い川の水は、近くに汚染源があることを推定させます。亜硝酸は酸素をとる力がたいへん強いので魚の体にも大きな影響を与えます。
 【アンモニウム態窒素】（評価の目安 きれい：0.2mg/L未満、少し多い0.5mg/L以上）
 タンパク質の有機物の分解によってできる。生活排水の汚れを示す1つの目安。アンモニウム値が高いということは、生活排水、工場排水、田畑からの肥料分が流入していることが考えられます。